



碧南ロータリークラブ週報

第2965回例会 令和2年12月9日(水)

- 会長 岡本 明弘
- 幹事 鈴木 泰博
- 会場監督(SAA) 服部 弘史

2020-2021 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



ロータリーは機会の扉を開く

- 会報委員 林 俊行・石川鋼勇・牧野勝俊

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

中日新聞社碧南通信局 通信局長 福澤和義様

会 長 挨拶

失礼致します。12月も第2週目に入りまして、今年も残すところあと3週間程度になってきました。今年は新型コロナウイルスで大変な1年だったなと思っております。ここにきて最近良い話が出てきて、新型コロナウイルスのワクチン接種がイギリスで開始されたこと、はやぶさ2のカプセルが帰還したと



岡本明弘会長

いう話がありました。しっかりと計画して準備したものは成果が出てくると私は思います。碧南 RC も計画と準備をしっかりと、今できることをやるということで、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ここで1つ報告があります。11月30日に刈谷 RC さんを親クラブとした刈谷、碧南、高浜、知立の4クラブの会長・幹事・事務局員会議がありました。やはりどこのクラブも情報が全くないものですから、色々と情報交換してきました。その中で知立 RC さんは地区大会のホスト、創立30周年記念式典で1番大変だと思いました。刈谷 RC さんは人数が多いので、2会場に分かれてテレビで繋いで例会を開催しているそうです。高浜 RC さんはハイブリッド型の Zoom 例会ということで、各クラブが色々と考えて例会を開催されておりました。

そこで、本日はロータリーの友の12月号に掲載されておりましたロータリークラブの例会についてのお話をさせていただきます。会員の皆様は既にお読みいただいていると思いますが、コロナ禍で世界の多くのクラブが対面形式での会合が開けなくなってあります。特に欧米のクラブはオンラインでの例会を行って、休まずに開催しているとの記載がありま

した。オンライン以外に集まる方法がない状況だということと、全く会えなくなるよりは少なくともバーチャルで会えることの方が良いという考えで簡単に切り替えているようです。日本のクラブは「ロータリーの例会は人生の道場である」という考えから、どうしても対面形式が主流になってくるかなと思います。厳密に言いますと、例会の最初の食事と団欒の時間が親睦で、その後の奉仕に耳を傾ける時間が卓話になります。ただ今後、感染を予防しながら日常生活を送る With コロナの時代を考えますと、ロータリーも With コロナに適応する方法に変化してくるのではないかと思います。仮にオンラインを活用した場合は、卓話の講師は日本中のどこからでも呼ぶことができます。また、他クラブの例会への参加も容易になります。地区では、研修会の一部オンラインでの実施になっております。こんなふうに少しずつ変わってくるかなと思います。

来週は碧南 RC で初めての対面形式とオンライン形式のハイブリッド型例会を開催したいと思っております。是非、オンライン例会をお試しいただければと思います。そのことをお伝えしまして、本日の会長告知と致します。

本日の例会もよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第 6 回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ ガバナー事務所より台北国際大会登録早期割引の延長のお知らせが届いております。
- ・ 西尾 RC、知立 RC、西尾 KIRARARC、岡崎 RC、岡崎東 RC、岡崎南 RC、岡崎城南 RC、豊田 RC より 2021～2022 年度役員・理事のご通知が届いております。



鈴木泰博幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 65 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 12 名) 出席者 54 名	
出席対象者 54/62 名	出席率 87.10%
欠席者 11 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

新美 雅浩君 } 先週の年次総会での次年度理事役員選挙にて、次年度体制のご承認を頂きました。コロナ禍でクラブ運営の試行錯誤が続くと思われませんが、宜しく
粟津 康之君 }

石川 鋼逸君 本日の卓話の講師、中日新聞記者 福澤和義様をご紹介します。宜しくお

願ひ致します。

卓 話

「コロナ時代の新聞の役割と、新聞記者の使命」 中日新聞社碧南通信局 通信局長 福澤和義様



福澤和義様

只今ご紹介いただきました中日新聞の福澤です。よろしくお願ひします。普段、私は取材する側で色々な講演会に行くんですけども、講演会のテーマと実際にやっていることが違うことがしばしばありまして、そういう場合は本当に記事を書くのに困ります。それで、今日のテーマを「コロナ時代の新聞の役割と、新聞記者の使命」ということで、凄く大きく掲げてしまいましたが、後半部分はちょっとくだけた話を入れつつ話をしていきます。

まず、個人的に「新聞は人生の道しるべ」だと思います。人が誰しも生きていく上で悩んで立ち止まったりすると思うんですけども、そんな時に新聞がヒントを与える役割があると思っています。

私は2000年に入社なので、20年新聞社にいる間に百年に一度のはずのリーマンショックがあって、数百年に一度のはずの東日本大震災がありました。それで、今コロナで驚いている場合じゃないと言いますか、どんな時代がきてもじっくりと時代と向き合って学んでいく人間のたくましさみたいなものを今考えているところですが、やっぱり来年の東京五輪は難しいのではないかなと個人的には思います。コロナ時代で新聞記者の仕事はやっぱり世の中がどうなっているかを見て、どっちに向かっているのかを感じ取れるようにしなければならないと思っていますんですけども、そこでとても大事なのが、私の場合はここで暮らしている人たちは何を考えてどういうことをしているのか、今日はどうしていたのか、昨日はどうしていたのか、明日はどうするのかということに全ての答えが詰まっていると思っています。こういう時代になってテレワーク、僕らの場合は電話取材で済ませようみたいなことを一部推奨する風潮がある一方で、そうではなくて徹底的に人と会って話すことこそがとても大事だということを改めて痛感しているところです。

今からは私の個人的な取材経験に基づいての話をさせていただきます。新聞社に20年いると赴任した先々で色々な取材をして、それと共に記者は成長していきまして、本当に地域と共に歩んでいる存在です。

2003年は長野支局におりまして、県内を車で走り回って色々な写真を撮りました。赴任先というのは色々思い出ができるんですけども、この時には温泉巡りをいっぱいして、白骨温泉に入浴剤を混ぜる事件が起きました。その他にはパナウェーブという白装束の集団が諏訪湖の周辺や長野県と岐阜県を横断していたのをずっと追いかけていました。

記者としてのターニングポイントがあったとすると、2014年の岐阜支社の報道部時代で、この時は経済担当をしていきまして、十六銀行さんでクーデターが起きました。その他で岐阜支社時代に一番思い出に残っているのは、FC岐阜の取材でして、ラモスさんが監督になられ

たんですけれども、最初の3ヶ月は口を利いてもらえませんでした。ラモスさんは私がどういう人間かを観察していました。突撃根性で繰り返し取材している内に記憶に残してもらえるようになりまして、遠征先で一緒にお酒を飲んだ時から距離が近くなりました。一度信用されると取材者と被取材者を越えた人と人との付き合い方を教えてもらったと思っています。その経験があったので、希望していた中日スポーツに行くことができて、リオ五輪の担当をさせてもらったのは本当にラモスさんのおかげだと思っています。付き合いは今でもちょいちょい続いています。

2018年に碧南通信局に着任しまして、最初に消防団に注目しました。今振り返ると良いスタートだったなと思います。今は市民病院に注目しています。大きな問題を抱えていて、簡単に解決しないので、どうするのかなと思っています。去年はふるさと納税がブレイクして、その時は色々と取材をしました。でも、ふるさと納税で集めたお金は市民病院にどんどん流れてしまっていて、この先どうなっていくかということで、新聞記者の役割を果たさなければと思っています。

最後になりますけれども、少しでも私の話をもっと聞いてみたいと思ってくださる方が1人でも増えたらなということで、今日は喋らせていただきました。こうやって見ると、取材で接した方や一緒に飲みに行ってくくださった方が増えてきまして、碧南で2年半やってきて良かったなと思っているところなんですけれども、今日の話をつきかけに声を掛けていただければ、一生懸命考えて、何とか記事にできるように頑張りますので、情報提供をよろしく願います。

私の拙い話を聞いてくださいますと、ありがとうございました。

次回例会案内

令和2年12月19日(土) 17:00～

家族例会 会場：衣浦グランドホテル

令和2年12月23日(水)は19日の振り替え休会

令和2年12月30日(水)は定款第7条第1節(d)(1)による休会

令和3年1月6日(水)は定款第7条第1節(d)による休会

令和3年1月13日(水) 新年例会 雅楽「越殿楽(えてんらく)」

会員 杉浦秀延君 他